

平成23年度の防災教育への取り組み

地域の航空写真

平成23年度、千葉県立姉崎高等学校は、県教育委員会からの指定を受け「地域との連携を深める防災教育公開事業」に取り組みます。

今年度は、年間を通して、地域の皆様とともに、防災に関する様々な活動を行います。1学期には、防災講演会・研修会・体験学習など様々な活動を行いましたので、ご報告します。

2学期以降には、LHRなどを利用して、クラスでも防災に対して考えていきたいと思ひます。



姉崎高校



京葉コンビナート



防災講演会

防災担当者連絡会議

5月、本校において、「防災担当者連絡会議」を開催し、地域の代表者、企業、病院、消防署、教育委員会、地震防災アドバイザーなどの多くの参加をいただきました。

本校からは、ボランティア委員会の生徒が防災教育の取り組みについてプレゼンテーションを行いました。

「高校生として何ができるか」というテーマで積極的に地域の防災に参加していきたいという内容の発表でした。



お話が非常に印象的で、生徒一人ひとりが防災への意識を高めることができました。

防災学習会

8月1日、防災学習会として、出光興産・西部防災センターへ行きました。地域の方、PTA、本校の職員・生徒を含め34名の参加で、一日しっかりと防災について学びましたので、その様子をご報告します。

■ 出光興産へ ■

午前中は、出光興産へ。説明を受けた後、バスで施設内を見学しました。石油パイプラインや、石油タンクなど、普段間近では見られないものを見学することができました。



原油を見えています。



工場内を見学したり、防災について質問をしました。避難訓練の頻度についてなど、活発な質問がありました。

■ 西部防災センターへ ■

午後は、西部防災センターで様々な体験を行いました。実際に体験してみると、難しさや、新たにできることの発見もあり、非常に有意義な研修でした。



↑ 消火器体験



↑ 起震体験



↑ AED体験



暴風雨体験



↑ 緊急通報体験。

非常食づくり体験・避難所体験

7月25日、8月4日には、夏休みを利用して、非常食づくり体験、避難所体験などの体験を行いました。普段することができない活動が多く、生徒たちも興味深く体験に参加していました。



↑ 初めて釜でご飯を炊きます。火はどうやっておこすのか、うまく炊けているのか不安そう。



↑ ダンボールで作った避難所に寝てみます。寝心地を実感！



→ 非常時には、U字溝、一斗缶を使って、かまどを作ることができます。

↑ ご飯を炊いている間に研修です。避難所に持っていくもののリストづくり。



避難訓練

7月19日、避難訓練を行いました。地震発生の緊急放送後、整然とグラウンドに避難し、その後、AEDの講習を受けました。

地域からは、姉崎消防署の署員の皆様にもご指導いただき、訓練後、講評をいただきました。



千葉県立姉崎高等学校 防災通信

8月24日発行

所在地：千葉県市原市姉崎2632

TEL: 0436-62-0601

http://www.chiba-c.ed.jp/anesaki-h

